

英単語の読み書きが苦手な通級利用生徒との  
初期の指導を振り返って

## アルファベットの音素の習得の重要性を知る

英語に苦戦する中学生に出会い、英語の教え方の勉強を始める。



田尻悟郎先生の英語指導法との出会い



アルファベットの音素（「仕事読み」・「アブクドウ読み）を知る。

●在籍校の英語科教員の中には「田尻式カナ発音記号」で英単語の読み支援をする教員もおり、通級での指導に導入してみたが、文字と音の連合が苦手な生徒の中には、「田尻式カナ発音記号」は一層分かりにくいという生徒もいた。

### 田尻式カナ発音記号例

基本母音

[ア] [イ] [エ] [オ] [ウ]  
([æ]) ([i]) [ʌ] ([e]) ([o])

子音

[ク] [シ] [フ] [ヴ] [ル] [ワ]  
([θ]) ([ð]) ([f]) ([v]) ([l]) ([w])

# 英単語の読み書きが苦手な通級利用生徒の音素習得実態を調べて

- 英語の読みが苦手な生徒は、**アルファベットの音素の習得が難しい。**

例 中2男児(3月はじめ)

b	c	d	f	g	h	j	k	l	m	n
ベータ	カ	×	×	×	ハ行	×	×	何に 使うんだ ろう	マ行	ナ行 ン
p	q	r	s	t	v	w	x	y	z	
ポ	クィーン の クィーン	×	×	タ行	×	ワ行	ザ行	ビー	ジー	
ch	ph	sh	th(無声音)	th(有声音)	ck	ng				
×	×	×	×	×	(○)	×				

## 市販のフォニックス教材を使っている指導の検討

●英語を母語とする子どもたちのための教材なので、日本語が母語の英語が苦手な子供にとってはレディネスとして獲得していない英単語が音素をイメージする手がかり語として用いられていることが多い。

例 snake ant grandmother (出典:「ジョリーフォニックス」から)  
frog igloo grasshopper (出典:「Enjoy Phonix」から)

●音素をイメージする手がかり語に、子供が獲得している英単語が用いられているとしても、音韻分解が難しい生徒がいる。

例 dogの音を分解してdの音素[ドゥ]を認識する

# アルファベットの小文字カードを使ってアルファベットの音素の指導

●文字カードをフラッシュカードとして提示する方法では、文字と音の連合（ディコーディング）の苦手さがあるため、学習効果を上げにくい生徒もいた。

例 中2男子

中学2年1学期末調べ（H26年7月17日「発音絵記号」使用前 文字カードで中1から通級で指導

b	c	d	f	g	h	j	k	l	m	n
×	○	○	(○)	○	×	○	○	×	ミ-	○
p	q	r	s	t	v	w	x	y	z	
(○)	×	×	○	ク	ビ-	×	×	×	×	

アルファベットの子音の習得率  
43%

ch	ph	sh	th(無声音)	th(有声音)	ck	ng
×	×	×	×	×	(○)	×

2文字子音の習得率  
14%

☞何度繰り返しても定着しない自分と向き合うことになるため、一層生徒の自己肯定感を下げたてしまうことになっていないだろうかと危惧した。

## 子音音素と母音音素のブレンディング(合成)に苦戦する

●d・o・g [ドウ オ グ] → [ドッグ] とスムーズにいかず、子音 [ドウ] と母音 [オ] をブレンディングして [ド] という音を作る音韻合成が難しい生徒がいる。



●読みの流暢性検査「稲垣ガイドライン」を実施  
中学生になっても、拗音のデコーディングの苦手さが残っている。



二つの音のブレンディング(合成)が苦手である。

# 読みの流暢性検査「稲垣ガイドライン」検査結果（単音連続読み）

\*小学校6年男子の平均との比較による

氏名： \_\_\_\_\_ 性別： (男・女)  
 生年月日： \_\_\_\_\_ 年 8 月 16 日 (15 歳 4 ヶ月) 学年： 中3 年生

は	び よ	げ	い	り ゆ	び	ぜ	じ よ	と	よ <small>よ よ (疎い)</small>
み よ	て	び ゆ ひ よ	お	ぼ	に よ	え	ら	に や	ず
ぬ <small>(はみ)</small>	ぎ ゃ	む	び ゃ	じ ゆ	か	き ゆ	ち ゆ	そ	ぎ ゆ
し	ぐ	しゃ	き よ	つ	ひ ゆ し ゅ	さ	ぺ	し よ	に
ち ゃ	の	が	ま	ぶ	じ	り ゃ り よ	れ	く	ぴ ゃ

音読時間： 29.1 秒 読み飛ばし： \_\_\_\_\_ 個 読み誤り： 5 個 自己修正： 0 個 語頭音繰り返し： 2 個

中学3年男子(1月実施)

氏名： \_\_\_\_\_ 性別： (男・女)  
 生年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日 (14 歳 7 ヶ月) 学年： 中2 年生

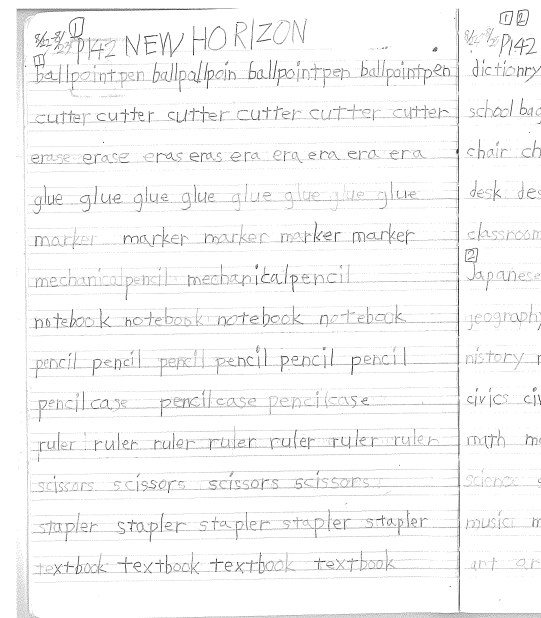
は	び よ	げ	い	り ゆ び ゆ	び じ よ → び よ	ぜ	じ よ	と	よ
み よ	て	び ゆ (ウ) び ゅ	お	ぼ	に よ ひ よ → に よ	え	ら	に や	ず
ぬ	ぎ ゃ	む	び ゃ び → び ゃ	じ ゆ	か	き ゆ	ち ゆ	そ	ぎ ゆ
し	ぐ	しゃ (む) しゃ	き よ	つ	ひ ゆ ゆ	さ	ぺ	し よ	に
ち ゃ	の	が	ま	ぶ	じ	り ゃ	れ	く	ぴ ゃ

音読時間： 34.8 秒 読み飛ばし： 0 個 読み誤り： 3 個 自己修正： 2 個 語頭音繰り返し： \_\_\_\_\_ 個

中学2年男子(3月実施)

## 英単語の読み書きが苦手な中学生の様子をみて

- 英語学習につまずくだけでなく、数学ではアルファベット文字を使う文字式や図形の学習、理科では原子記号などの学習につまずきやすい。
- テストでの点が取れないことから、自己肯定感が小学校時に比べると一気に低下してしまい、学習意欲も減退しがちである。
- まじめに課題に取り組む生徒もいるが、課題提出のために、読めない単語を書く作業を続けており、学習に効果を感じていない。
- K-ABCの結果から継次処理<同時処理の傾向が強い。そのため、視覚情報で英単語の綴りを覚えようとするので、文字数の多い単語の綴りは覚えられない。
- 英語学習をあきらめてしまう。
- 「英語は日本人には必要ない!」と開き直ってしまう。





# 英単語の読み書きが苦手な生徒に KABC-II を実施してみた

\*平成26年からKABC-IIを実施

## ○ [語の学習] [語の学習遅延] の下位検査実施時の様子から

文字と音の連合は苦手でも、絵と名前の対連合記憶は苦手でない生徒が多い。

## ○ 認知尺度間の比較から

読みが苦手な児童生徒には、継次処理（短期記憶）が苦手な同時処理（視覚処理）優位なタイプが多い。

